

一般社団法人 National Clinical Database

2018 年度事業計画書

National Clinical Database（以下 **NCD**）は臨床現場の医療情報を体系的に把握し、医療の質の向上に資する分析を行う。その結果を以て一般市民に最善の医療を提供し、適正な医療水準を維持することを目的とする。本年度は、以下の社会事業を実施する。

（1）医療情報を集積したデータベースの維持管理及び提供について

- データ入力仕様の要望を加盟学会より受け付け、改訂を行い、収集データの改善を図る。
- ソフトウェア品質を確保しながら効率的な開発及び業務担当者間での共進化を図る。
- 登録症例データを利用した集計・分析結果を確認できるフィードバック機能を充実させる。
- 追跡調査の補助機能を継続的に開発し、フォローアップ情報の入力率向上に寄与する。
- **DPC**・レセプトデータを利用し、医療の質・効率性の評価・分析研究を実施する。

（2）データベースを活用した医療水準の評価及び臨床研究の支援について

- 臓器別癌登録データベース基盤の構築に向けて、症例登録システム開発及び運用を行う。
- 日本泌尿器科学会において、基盤となる症例登録システム機能の開発及び運用を行う。
- 日本形成外科学会において、基盤となる症例登録システム機能の開発及び運用を行う。
- 日本病理学会において、剖検輯報データベースの運用及びデータダウンロード機能を追加実装する。病理遠隔診断システム開発を支援する。
- 日本再生医療学会において、再生医療等製品使用データ登録システムの運用設計を支援する。
- **NCD** データ活用環境の構築し、自施設データ利用の運用を見直しつつ、医療品質の評価や改善に寄与する。
- 各領域の研究プロジェクト、学術調査、アニュアルレポートを通じて、臨床的検討を行う。
- 各領域での **Site-Visit** や **Web-Audit** におけるデータ検証等を支援する。
- 電子カルテシステムに **NCD** 症例アップロード機能を搭載するための情報連携を行う。

（3）データベースの運用による関連団体との業務連携について

- 学会専門医制度等と連携した各種申請システムの維持管理及び開発を継続的に行う。
- 学術団体向けの **DB** 初期開発に関するガイダンス及び **Q&A** 対応を推進する。
- 医療機器等の製造販売後データベース調査における信頼性担保に努める。
- **NCD** セミナーや各領域の学術総会または手順書などの教育コンテンツを通じて、業務連携に努める。

（4）法人の目的を達成するために必要な関連事業ならびに業務について

- 施設会費プランの検討、施設会員登録に関する周知活動等。
- セキュリティ保持、知的財産の管理、法・倫理的課題の解決。
- 科学的根拠のもとでの行政との意見交換。研究機関登録の準備等。
- サーバーリプレイス、データセンター運用条件の検討等。

以上、今後も引き続き、各事業で関連する学術団体でのガバナンス強化を目指す。